

# Mist 設定マニュアル

## - Settings -

# オートプロビジョニングの設定

---

ジュニパーネットワークス株式会社

2023年3月 Ver 1.1

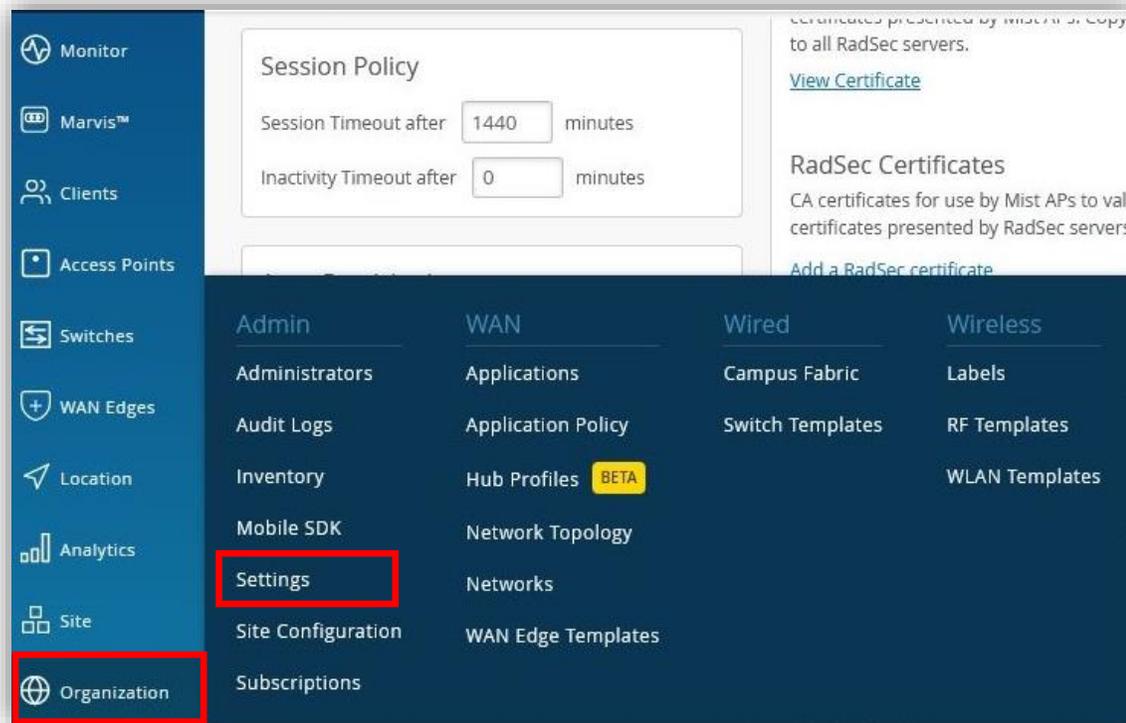
JUNIPER   
driven by Mist AI

# はじめに

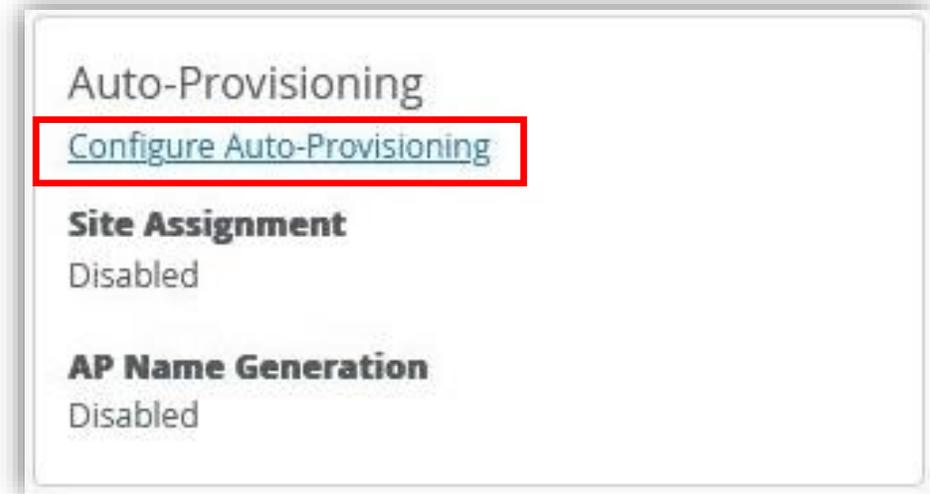
- ❖ 本マニュアルは、『オートプロビジョニングの設定』について説明します
- ❖ 手順内容は 2023年3月 時点の Mist Cloud にて確認を実施しております  
実際の画面と表示が異なる場合は以下のアップデート情報をご確認下さい  
<https://www.mist.com/documentation/category/product-updates/>
- ❖ 設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります  
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください  
<https://www.mist.com/documentation/>
- ❖ 他にも多数の Mist 日本語マニュアルを「ソリューション&テクニカル情報サイト」に掲載しております  
<https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/mist.html>

# オートプロビジョニングの設定

1. [Organization] から [Settings] を  
選択します



2. 「Auto-Provisioning」セクションにて  
[Configure Auto-Provisioning] をクリックします



オートプロビジョニングの設定状況を確認できます

# オートプロビジョニングの設定

## Site への自動アサインの設定 - AP 名を利用する場合 -

AP 名の文字列をオプションで部分的に抽出し、抽出した AP 名の文字列と、Site 名の文字列が一致するとその Site に対し AP を自動的にアサインします

1. [Site Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [AP Name] を選択しオプションを設定します

AP 名をセパレータで分割し、何番目の文字列をアサイン先の Site 名と一致させるか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

AP 名の最初の文字数と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

“(Prefix) + AP 名” と Site 名が一致する Site に AP をアサインします

“AP 名+ (Suffix)” と Site 名が一致する Site に AP をアサインします

さまざまな AP 名を試して、選択結果のサイト割り当てを確認します

Auto-Provisioning

Site Assignment AP Name Generation

Enabled  Disabled

Source (Site name based on)

AP Name

Divide into segments separated by Separator and select the 1st segment

Ignore the first characters and the last characters

Select first characters

Add a prefix Prefix

Add a suffix Suffix

Try various AP names to see the site assignment resulting from your selections

AP Name

Site

OK Cancel

# オートプロビジョニングの設定

## Site への自動アサインの設定 - LLDP System Name を利用する場合 -

AP が接続されているスイッチから送信される LLDP System Name の文字列をオプションで部分的に抽出し抽出した文字列と、Site 名の文字列が一致すると、その Site に対し AP を自動的にアサインします

※ LLDP System Name の設定はスイッチ側で行います

1. [Site Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [LLDP System Name] を選択しオプションを設定します

LLDP System Name をセパレータで分割し、何番目の文字列をアサイン先の Site 名と一致させるか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

LLDP System Name の最初の文字数と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

“(Prefix) + LLDP System Name ” と Site 名が一致する Site に AP をアサインします

“LLDP System Name + (Suffix)” と Site 名が一致する Site に AP をアサインします

さまざまな LLDP システム名を試して、選択結果のサイト割り当てを確認します

Auto-Provisioning

Site Assignment AP Name Generation

Enabled  Disabled

Source (Site name based on)

LLDP System Name

Divide into segments separated by Separator and select the 1st segment

Ignore the first characters and the last characters

Select first characters

Add a prefix Prefix

Add a suffix Suffix

Try various LLDP system names to see the site assignment resulting from your selections

LLDP System Name

Site

OK Cancel

# オートプロビジョニングの設定

## Site への自動アサインの設定 - DNS Suffix を利用する場合 -

AP が DHCP で取得した DNS Suffix の文字列をオプションで部分的に抽出し抽出した文字列と、Site 名の文字列が一致すると、その Site に対し AP を自動的にアサインします

※ DNS Suffix の設定は DHCP サーバ側で行います

1. [Site Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [DNS Suffix] を選択しオプションを設定します

DNS Suffix をセパレータで分割し、何番目の文字列をアサイン先 Site 名と一致させるか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

DNS Suffix の最初の文字数と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

“(Prefix) + DNS Suffix ”と Site 名が一致する Site に AP をアサインします

“ DNS Suffix + (Suffix)”と Site 名が一致する Site に AP をアサインします

さまざまな DNS 名を試して、選択した結果のサイト割り当てを確認します

# オートプロビジョニングの設定

## Site への自動アサインの設定 - Subnet を利用する場合 -

AP の管理 IP アドレスのサブネットをクライテリアとして Site への自動アサインを行うことができます  
複数のポリシーを設定することができます  
Site ごとに IP アドレスレンジが決まっている場合に便利です

1. [Site Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [Subnet] を選択します
3. 「APs In Subnet」にてへ サブネットを入力します  
入力例：10.10.10.0/24
4. 「Assigned to Site」のプルダウンからアサインする Site を選択します

Auto-Provisioning

Site Assignment AP Name Generation

Enabled  Disabled

Source (Site name based on)

Subnet

Deriving Site Name from Subnet

APs In Subnet	Assigned to Site	
10.10.10.0/24	Site_00	
10.10.20.0/24	Site_01	

ポリシー追加

Add Row

ポリシー削除

OK Cancel

# オートプロビジョニングの設定

## Site への自動アサインの設定 - AP の型番を利用する場合 -

AP の型番をクライテリアとして Site への自動アサインを行うことができます  
複数のポリシーを設定することができます  
Site ごとに利用する AP の型番が決まっている場合に便利です

1. [Site Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [AP Model] を選択します
3. 「AP Model」のプルダウンから AP の型番を選択します
4. 「Assigned to Site」のプルダウンからアサインする Site を選択します

The screenshot shows the 'Auto-Provisioning' configuration window. The 'Site Assignment' tab is selected and highlighted with a red box. Below it, the 'Enabled' radio button is selected and highlighted with a red box. The 'Source' dropdown menu is set to 'AP Model' and is also highlighted with a red box. Below this, there is a table for 'Deriving Site Name from Model' with two columns: 'AP Model' and 'Assigned to Site'. The first row shows 'AP21' in the 'AP Model' column and 'Site\_00' in the 'Assigned to Site' column, both highlighted with red boxes. A trash icon is visible to the right of each row. A callout box labeled 'ポリシー追加' (Add Policy) points to the 'Add Row' button. Another callout box labeled 'ポリシー削除' (Delete Policy) points to the trash icon. At the bottom right, there are 'OK' and 'Cancel' buttons.

AP Model	Assigned to Site	
AP21	Site_00	🗑️
AP43	Site_01	🗑️

# オートプロビジョニングの設定

## AP 名の自動生成

AP が接続されているスイッチから送信される LLDP Port Description の文字列を AP 名として自動的に生成することができます

※ LLDP Port Description の設定はスイッチ側で行います

1. [AP Name Generation] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. オプションを設定します

LLDP Port Description をセパレータで分割し、何番目の文字列を AP 名とするか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

LLDP Port Description の最初と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

さまざまなポートの説明を試して、選択した結果の名前を確認します

The screenshot shows the 'Auto-Provisioning' configuration window. The 'AP Name Generation' tab is selected and highlighted with a red box. Below it, the 'Enabled' radio button is selected and also highlighted with a red box. Under the heading 'Deriving AP Name from LLDP Port Description', there are three options, each with a checkbox and a corresponding input field:

- Divide into segments separated by  and select the  segment
- Ignore the first  characters and the last  characters
- Select first  characters

At the bottom of the window, there is a section titled 'Try various Port Description to see the name resulting from your selections' which contains two input fields: 'LLDP Port Desc.' and 'AP Name'. The 'OK' and 'Cancel' buttons are located at the bottom right of the window.

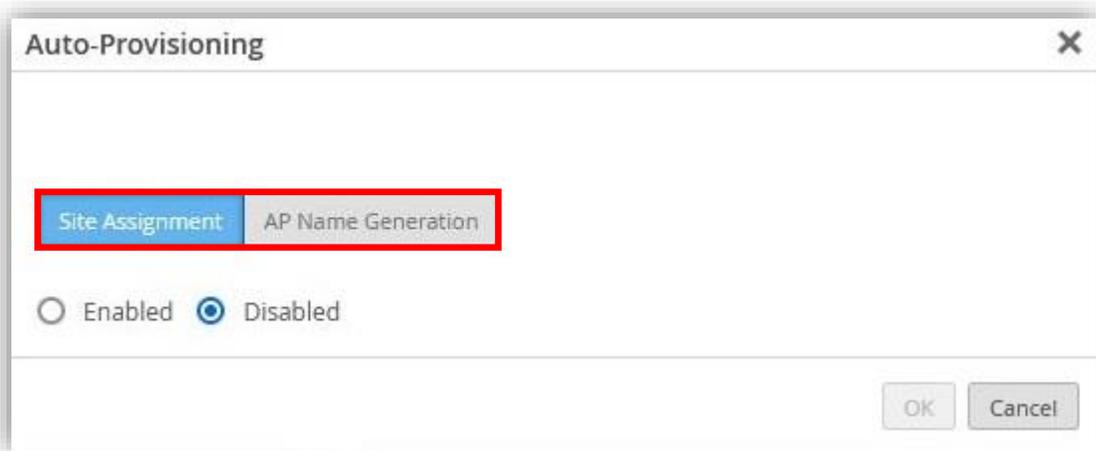
# オートプロビジョニングの設定

デバイスプロファイルの自動適用について

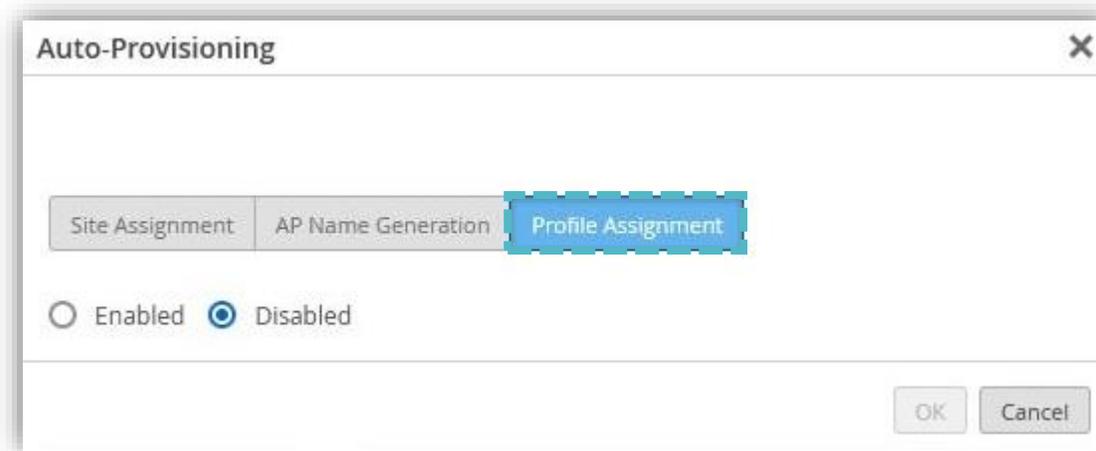
デバイスプロファイルの割り当て機能は、AP がサイトに割り当てられると機能します  
デバイスプロファイルの設定は、Organization > Device Profiles で設定可能です

## 注意点

こちらの設定項目は通常表示されません  
本機能の利用をご希望の場合はサポートまでお問い合わせください



デフォルト状態の表示



デバイスプロファイルの設定が可能な状態の表示

# オートプロビジョニングの設定

## デバイスプロファイルの自動適用 - AP 名を利用する場合 -

AP 名の文字列をオプションで部分的に抽出し、抽出した AP 名の文字列とデバイスプロファイル名の文字列が一致すると、その AP に対しデバイスプロファイルを自動的にアサインします

1. [Profile Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [AP Name] を選択しオプションを設定します

AP 名をセパレータで分割し、何番目の文字列をアサイン先のデバイスプロファイル名と一致させるか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

AP 名の最初の文字数と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

“(Prefix) + AP 名” と Site 名が一致するデバイスプロファイルのアサインします

“ AP 名+ (Suffix)” と Site 名が一致するデバイスプロファイルのアサインします

さまざまな AP 名を試して、選択結果のサイト割り当てを確認します

Auto-Provisioning

Site Assignment AP Name Generation **Profile Assignment**

Enabled  Disabled

Source (Device Profile name based on)

**AP Name**

Divide into segments separated by  and select the  segment

Ignore the first  characters and the last  characters

Select first  characters

Add a prefix

Add a suffix

Try various AP names to see the site assignment resulting from your selections

AP name

Device Profile Name

OK Cancel

# オートプロビジョニングの設定

デバイスプロファイルの自動適用 - LLDP System Name を利用する場合 -

AP が接続されているスイッチから LLDP で送信される LLDP System Name の文字列をオプションで部分的に抽出し、抽出した文字列とデバイスプロファイル名の文字列が一致すると、その AP に対しデバイスプロファイルを自動的にアサインします  
※ LLDP System Name の設定はスイッチ側で行います

1. [Profile Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [LLDP System Name] を選択しオプションを設定します

LLDP System Name をセパレータで分割し、何番目の文字列をアサイン先のデバイスプロファイル名と一致させるか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

LLDP System Name の最初の文字数と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

“(Prefix)+ LLDP System Name ” と一致する デバイスプロファイルのアサインします

“ LLDP System Name +(Suffix)” と一致する デバイスプロファイルのアサインします

さまざまな LLDP システム名を試して、選択結果のサイト割り当てを確認します

Auto-Provisioning

Site Assignment | AP Name Generation | **Profile Assignment**

Enabled  Disabled

Source (Device Profile name based on)

**LLDP System Name**

Divide into segments separated by  and select the  segment

Ignore the first  characters and the last  characters

Select first  characters

Add a prefix

Add a suffix

Try various LLDP system names to see the site assignment resulting from your selections

LLDP System Name

Device Profile Name

OK Cancel

# オートプロビジョニングの設定

デバイスプロファイルの自動適用 - DNS Suffix を利用する場合 -

AP が DHCP で取得した DNS Suffix の文字列をオプションで部分的に抽出し、抽出した DNS Suffix の文字列とデバイスプロファイル名の文字列が一致すると、その AP に対しデバイスプロファイルを自動的にアサインします

※DNS Suffix の設定は DHCP サーバ側で行います

1. [Profile Assignment] タブを選択し [Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [DNS Suffix] を選択しオプションを設定します

DNS Suffix をセパレータで分割し、何番目の文字列をアサイン先のデバイスプロファイル名と一致させるか選択します  
選択可能なセパレータは「 - \_ . / 」の4種類です

DNS Suffix の最初の文字数と最後の文字数を除いた文字列を使用します

設定した先頭の文字数を文字列として使用します

“(Prefix)+ DNS Suffix ” と一致するデバイスプロファイルをアサインします

“ DNS Suffix +(Suffix)” と一致するデバイスプロファイルをアサインします

さまざまな DNS 名を試して、選択した結果のサイト割り当てを確認します

The screenshot shows the 'Auto-Provisioning' configuration window with the 'Profile Assignment' tab selected. The 'Enabled' radio button is checked. The 'Source' dropdown is set to 'DNS Suffix'. Below this, there are several options: 'Divide into segments separated by Separator and select the 1st segment', 'Ignore the first characters and the last characters', 'Select first characters', 'Add a prefix', and 'Add a suffix'. At the bottom, there is a section for testing with 'DNS Name' and 'Device Profile Name' input fields.

# オートプロビジョニングの設定

デバイスプロファイルの自動適用 - Subnet を利用する場合 -

AP の管理 IP アドレスのサブネットをクライテリアとしてデバイスプロファイルへ自動アサインを行うことができます  
複数のポリシーを設定することができます

1. [Profile Assignment] タブを選択し  
[Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [Subnet] を選択します
3. 「APs In Subnet」へ サブネットを入力します  
入力例：10.10.10.0/24
4. 「Assigned Device Profile」のプルダウンから  
アサインするデバイスプロファイルを選択します

※[Profile Assignment] では、事前に Device Profile が設定されていない場合や、  
[Aps In Subnet] 欄に入力が無い場合に警告文が表示されますのでご注意ください

APs In Subnet	Assigned Device Profile
10.10.10.0/24	Device Profile 01
10.10.20.0/24	Device Profile 02

Subnet value is required

Device profile name is required

# オートプロビジョニングの設定

デバイスプロファイルの自動適用 - AP の型番を利用する場合 -

AP の型番をクライテリアとしてデバイスプロファイルへの自動アサインを行うことができます  
複数のポリシーを設定することができます

1. [Profile Assignment] タブを選択し  
[Enable] にチェックを入れます
2. 「Source」から [AP Model] を選択します
3. 「AP Model」のプルダウンから AP の型番を選択します
4. 「Assigned Device Profile」のプルダウンから  
アサインするデバイスプロファイルを選択します

Auto-Provisioning

Site Assignment | AP Name Generation | **Profile Assignment**

Enabled  Disabled

Source (Device Profile name based on)

AP Model

Deriving Device Profile name from Model

AP Model	Assigned Device Profile	
AP43	Device Profile 01	🗑️
AP43E	Device Profile 02	🗑️

AP Model dropdown menu items: AIR-RM-VBLE2-K9, AP12, AP21, AP32, AP32E

Annotations: ポリシー追加 (Add Policy), ポリシー削除 (Delete Policy)

Buttons: Add Row, OK, Cancel

# Thank you

---

JUNIPER  
driven by Mist AI 